

伊方原子力発電所環境安全管理委員会 (R3. 10. 25) で
取りまとめられた意見

1 令和2年度伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

空間放射線の測定結果は、伊方発電所からの放出と考えられる線量率の変化は認められない。

また、環境試料等の核種分析結果については、一部の環境試料から、セシウム-137等が検出されたが、微量であり、人体への影響上問題となるような濃度は認められていない。

2 令和2年度伊方原子力発電所温排水影響調査結果

過去の調査結果と比較して同じ程度であり、特に問題となるものは認められない。

3 伊方発電所における過去の保安規定違反について

GPS付きスマートフォンによる宿直者の所在確認、あるいは社有車の鍵管理の強化など同様の事象を未然に防止する仕組みの強化が行われていることに加え、職員の意識の面についても、法令の遵守及び企業倫理の徹底等に関する職場内研修などを通じてコンプライアンスの徹底などに取り組んでおり、四国電力の再発防止策は妥当である。

なお、四国電力には伊方発電所に関係する一人一人まで、原子力発電所を運転する責任と使命を自覚するよう、より一層の安全文化の醸成活動に取り組むとともに、再発防止策、安全文化の醸成活動を含めた活動の実施状況について、原子力安全専門部会等への定期的な報告はもとより、県民に対し適宜丁寧の説明していくこと。